

安全データシート

作成日 2024/04/01

1. 製品及び会社情報

製品名	KF シールテクト アンダーコート NK 硬化剤
会社名	KFケミカル株式会社
住所	東京都港区新橋1-1-1
電話番号	03-6629-9030
FAX 番号	03-6629-9020
推奨用途	防水塗装材
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性		分類できない又は区分に該当しない
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2
	皮膚感受性	区分 1
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (呼吸器)
環境に対する有害性		分類できない又は分類に該当しない

GHS ラベル要素

絵表示 (ピクトグラム)



注意喚起語

危険有害性情報

警告
皮膚刺激
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
呼吸器の障害のおそれ

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急処置

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
皮膚 (又は髪) に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん (疹) が生じた場合: 医師の診察/手当を受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当を受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

保管	特別な処置が必要である。 施錠して保管すること。
廃棄	内容物／容器を、国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。
GHS 分類に該当しない他の危険有害性	物理的及び化学的危険性：通常の取扱いでは、火災の危険性は低い。

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別	シリコン樹脂を含む混合物
化学名又は一般名	設定なし
成分及び濃度又は濃度範囲	脂肪族ポリアミン（CAS RN：非公開）、含有率 10-20%、化審法 非公開 m-キシレンジアミン（CAS RN：1477-55-0）、含有率 約 1%、化審法 3-308 水（CAS RN：7732-18-5）、含有率 80-90% その他添加剤、含有率 約 0.4%

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に（又は髪）に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚異常が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるようにする。 眼に刺激が続く場合は、医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 無理に吐かせないこと。 気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

適切な保護具(保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面)を着用する。換気を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂など
使ってはならない消火剤	火災を拡大する可能性のある放水（棒状水など）
特有の消火方法	消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う 関係者以外は安全な場所に退去させる

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	環境への影響を起こさないよう、河川などに排出しない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏れた液やこぼれた液を、密閉式の容器に出来る限り集める。 残留液を、砂又は不活性吸収剤に吸収させる。
二次災害の防止策	濡れ布、濡れ紙でふき取る。 回収除去後、十分に水洗いする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

適切な保護具を付けて作業すること。

安全取扱い注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

取扱い後は手、顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ちこまないこと。

環境への放出は避けること。

接触回避

皮膚、粘膜または着衣に触れたり、眼に入らぬよう保護具を着用すること。

混合接触させてはならない物質：特になし

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、換気の良いところに保管する。

雨露を避け、湿度の少ない室内で保管すること。

水濡れの危険のある床面では直置きを避け、パレットなどの架台を用いる。

盗難防止のために施錠すること。

安全な容器包装材料

製品使用容器に準ずる。

落下や他の器物に当てるなど容器をかぶらないように慎重に扱うこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

(混合物として設定なし)

許容濃度

(混合物として設定なし)

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を使用すること。

眼、顔面保護具

個人用の眼の保護具、保護面を使用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を使用すること。

特別な注意事項

作業終了後は、手洗いを十分に行う。

9. 物理的及び化学的物質

物理状態

液体

色

淡黄色

臭気

アミン臭

融点/凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

水に無限大に希釈可能

n-オクタノール/水分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び/又は相対密度

データなし

相対ガス密度

該当しない

粒子特性

データなし

10. 安定性・反応性

化学的安定性

通常の温度、圧力の条件下では安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

5°C以下の低温、40°C以上の高温

混触危険物質

炭酸ガス、酸化性物質、エポキシ化合物及びイソシアネート化合物等

危険有害な分解生成物

燃焼等による CO、NO_x

11. 有害性情報

急性毒性

データ不足のため分類できない

皮膚腐食性／刺激性

区分2 (m-キシレンジアミン、濃度限界 10%以上の為)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

区分2A (m-キシレンジアミン、濃度限界 10%以上の為)

呼吸器感作性

製品は呼吸器を刺激するおそれがある。

皮膚感作性

区分1 (m-キシレンジアミン≧0.1%)

生殖細胞変異原性

データ不足のため分類できない

発がん性

データ不足のため分類できない

生殖毒性・授乳影響

データ不足のため分類できない

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

区分2 (呼吸器) (m-キシレンジアミン≧1%)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

データ不足のため分類できない

誤えん有害性

データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

水生環境有害性短期 (急性)

データなし

水性環境有害性長期 (慢性)

データなし

生体毒性

データなし

残留性・分解性

データなし

生態蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の付属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

内容物／容器を (国／都道府県／市町村) の規則に従って廃棄すること。都道府県知事などの許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。空容器を廃棄する場合、内容物を完全除去した後にリサイクル又は処分する。特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。

14. 輸送上の注意

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

火気厳禁、天地無用。
容器に濡れが無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

国外規制

国連番号

2735

国連分類

クラス 8

容器等級

III

指針番号

153

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従うこと
海上輸送	船舶安全法の定めるところに従うこと。 個品輸送の場合、海洋汚染防止法対象 MARINE POLLUTANT Label を貼付する。
航空輸送	航空法の定めるところに従うこと。 荷送人は運搬注意書（イエローカード等）を交付すること。

15. 適用法令

化学物質管理促進法	非該当
労働安全衛生法	第 57 条に規定される表示対象物 第 57 条の 2 に規定される通知対象物 皮膚刺激性有害物質（R6.4.1～） 皮膚吸収性有害物質（R6.4.1～）
海洋汚染防止法	腐食性物質
消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当

16. その他情報

引用文献： 原材料 SDS
JIS Z7253:2019
NITE 化学物質総合情報システム

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

また、注意事項は通常の実施を前提としております。特別な取扱いをされる場合は、用途／用法に適した安全対策を改めて実施して取扱われますようお願いいたします。

すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。

なお、ここに記載された情報は、新たな知見又は法規制の変更等により改訂されることがありますことをご了承ください。

安全データシート

作成日 2024/04/01

1. 製品及び会社情報

製品名	KF シールテクト アンダーコート NK 主剤
会社名	KF ケミカル株式会社
住所	東京都港区新橋 1-1-1
電話番号	03-6629-9030
FAX 番号	03-6629-9020
推奨用途	防水塗装材
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性		分類できない又は区分に該当しない
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2B
	皮膚感作性	区分 1
環境に対する有害性	水性環境有害性 (短期)	区分 2
	水性環境有害性 (長期)	区分 2

GHS ラベル要素

絵表示 (ピクトグラム)



注意喚起語

警告

危険有害性情報

皮膚、眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。

応急処置

皮膚 (又は髪) に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん (疹) が生じた場合: 医師の診察/手当を受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当を受けること。
特別な処置が必要である。

保管	漏出物を回収すること。 施錠して保管すること。
廃棄	内容物／容器を、国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。
GHS 分類に該当しない他の危険有害性	物理的及び化学的危険性：通常の取扱いでは、火災の危険性は低い。

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別	シリコン樹脂を含む混合物
化学名又は一般名	設定なし
成分及び濃度又は濃度範囲	ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂(CAS RN:25068-38-6)、含有率 30-40%、 化審法 7-1283 水 (CAS RN : 7732-18-5)、含有率 60-70% その他添加剤、含有率 3-5%

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に（又は髪）に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚異常が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるようにする。 眼に刺激が続く場合は、医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 無理に吐かせないこと。 気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

適切な保護具(保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面)を着用する。換気を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂など
使ってはならない消火剤	火災を拡大する可能性のある放水（棒状水など）
特有の消火方法	消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う 関係者以外は安全な場所に退去させる

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	環境への影響を起こさないよう、河川などに排出しない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏れた液やこぼれた液を、密閉式の容器に出来る限り集める。 残留液を、砂又は不活性吸収剤に吸収させる。
二次災害の防止策	濡れ布、濡れ紙でふき取る。 回収除去後、十分に水洗いする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

適切な保護具を付けて作業すること。

安全取扱い注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

取扱い後は手、顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ちこまないこと。

環境への放出は避けること。

接触回避

皮膚、粘膜または着衣に触れたり、眼に入らぬよう保護具を着用すること。

混合接触させてはならない物質：特になし

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、換気の良いところに保管する。

雨露を避け、湿度の少ない室内で保管すること。

水濡れの危険のある床面では直置きを避け、パレットなどの架台を用いる。盗難防止のために施錠すること。

安全な容器包装材料

製品使用容器に準ずる。

落下や他の器物に当てるなど容器をかぶらないように慎重に扱うこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

(混合物として設定なし)

許容濃度

(混合物として設定なし)

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を使用すること。

眼、顔面保護具

個人用の眼の保護具、保護面を使用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を使用すること。

特別な注意事項

作業終了後は、手洗いを十分に行う。

9. 物理的及び化学的物質

物理状態

液体

色

乳白色

臭気

僅かなエポキシ臭

融点/凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

水に不溶

n-オクタノール/水分分配係数

該当しない

蒸気圧

データなし

密度及び/又は相対密度

データなし

相対ガス密度

該当しない

粒子特性

データなし

10. 安定性・反応性

化学的安定性

通常の温度、圧力の条件下では安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

5°C以下の低温、40°C以上の高温

混触危険物質

酸化性物質

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

急性毒性

データ不足のため分類できない

皮膚腐食性／刺激性

区分2（ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂）

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

区分2B（ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂）

呼吸器感作性

製品は呼吸器を刺激するおそれがある。

皮膚感作性

区分1（ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂≧1%）

生殖細胞変異原性

データ不足のため分類できない

発がん性

データ不足のため分類できない

生殖毒性・授乳影響

データ不足のため分類できない

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データ不足のため分類できない

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

データ不足のため分類できない

誤えん有害性

データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

水生環境有害性短期（急性）

区分2（ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂）

水性環境有害性長期（慢性）

区分2（ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂）

生体毒性

データなし

残留性・分解性

データなし

生態蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の付属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

内容物／容器を（国／都道府県／市町村）の規則に従って廃棄すること。都道府県知事などの許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。空容器を廃棄する場合、内容物を完全除去した後にリサイクル又は処分する。特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。

14. 輸送上の注意

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

火気厳禁、天地無用。

容器に濡れが無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

国外規制

国連番号

3082

国連分類

クラス9

容器等級

III

指針番号

171

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従うこと
海上輸送	船舶安全法：環境汚染物質
航空輸送	航空法の定めるところに従うこと。 荷送人は運搬注意書（イエローカード等）を交付すること。

15. 適用法令

化学物質管理促進法	非該当
労働安全衛生法	皮膚刺激性有害物質（R6 4/1～）
海洋汚染防止法	X 類物質（ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂）
毒物及び劇物取締法	非該当

16. その他情報

引用文献：	原材料 SDS JIS Z7253:2019 NITE 化学物質総合情報システム
-------	--

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

また、注意事項は通常の実施を前提としております。特別な取扱いをされる場合は、用途／用法に適した安全対策を改めて実施して取扱われますようお願いいたします。

すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。

なお、ここに記載された情報は、新たな知見又は法規制の変更等により改訂されることがありますことをご了承ください。

安全データシート

作成日 2022/12/13

改定日 2024/03/08

1. 製品及び会社情報

製品名	KF シールテクト アンダーコート NK (粉体)
会社名	KF ケミカル株式会社
住所	東京都港区新橋 1-1-1
電話番号	03-6629-9030
FAX 番号	03-6629-9020
推奨用途	防水塗装材
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性		分類できない又は区分に該当しない
健康に対する有害性	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 1A
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (免疫系、呼吸器、腎臓)
環境に対する有害性	水性環境有害性 (短期)	区分 3

GHS ラベル要素

絵表示 (ピクトグラム)



注意喚起語

危険

危険有害性情報

遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる又は反復ばく露による免疫系、呼吸器、腎臓の障害
水生生物に有害

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
環境への放出を避けること。

応急処置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
ばく露またはその懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪いときは、医師の診察/手当を受けること。

保管	施錠して保管すること。 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
廃棄	内容物／容器を、国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。
GHS 分類に該当しない他の危険有害性	物理的及び化学的危険性：通常の取扱いでは、火災の危険性は低い。

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	設定なし
成分及び濃度又は濃度範囲	結晶質シリカ（石英）（CAS RN：14808-60-7）、含有率 30-40%、化審法番号 1-548 二酸化チタン（CAS RN：13463-67-7）、含有率 10-20%、化審法番号 1-558 ポルトランドセメント（CAS RN：65997-15-1）、含有率 40-50% 二酸化ケイ素（CAS RN：7631-86-9）、含有率 3-4%、化審法番号 1-548 酸化亜鉛（CAS RN：1314-13-2）、含有率 <1%、化審法番号 1-561

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に（又は髪）に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚異常が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるようにする。 眼に刺激が続く場合は、医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 無理に吐かせないこと。 気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候	
急性症状	無し
遅発性症状	遺伝性疾患のおそれの疑い 発がんのおそれ 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害（免疫系、呼吸器、腎臓）

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

適切な保護具(保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面)を着用する。換気を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素が含まれるので消火作業の際には、煙の吸入を避ける
特有の消火方法	消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う 関係者以外は安全な場所に退去させる

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護
具及び緊急時措置
環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び
機材
二次災害の防止策

風上から作業し、風下の人を退避させる
処理を行う際には、必ず保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する
回収された廃棄物を河川等の流水域に流出しないよう注意する
ほうき等で掃き集め、紙袋またはドラム缶等の空容器に回収する
回収する過程に、粉じんを生じることを避ける。
付近の着火源となるものを速やかに除くと共に消火剤を用意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

局所排気装置の設置等、通気の良い作業所を確保する。
適切な保護具を付けて作業すること。

安全取扱い注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
火気厳禁。炎、火気、高温体との接近、その他点火源となるおそれのある機械の
使用を禁止する。
粉じん爆発を起こすおそれがあるため、防爆使用の設備を使用する。
取扱い後は手、顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ちこま
ないこと。

接触回避

皮膚、粘膜または着衣に触れたり、眼に入らぬよう保護具を着用すること。
混合接触させてはならない物質：知見なし

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、換気の良いところに保管する。
水濡れ、吸湿しない様に注意する。
電気機器は防爆構造とする他、消防法などの法令に定められるところに従う。
子供の手の届かないところに保管すること。
盗難防止のために施錠すること。
製品使用容器に準ずる。

安全な容器包装材料

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

(混合物として設定なし)

許容濃度

(混合物として設定なし)

成分名

結晶質シリカ (石英)

日本産衛学会 (2015 年度版)

(吸入性結晶質シリカ) 0.03mg/m³

ACGIH (2015 年度版)

TLV-TWA : 0.025mg/m³ (呼吸性画分)

(結晶質シリカ、 α -クォーツ及びクリストバライト)

成分名

ポルトランドセメント

USECHH (2000 年度版)

(吸入性粉じん) TLV-TWA 3mg/m³

(総粉じん) TLV-TWA : 10mg/m³

成分名

二酸化チタン

日本産衛学会 (2016 年度版)

(吸入性粉じん) 1mg/m³

(総粉じん) 4mg/m³

(第 2 種粉じん；二酸化チタン)

ACGIH (2015 年度版)

TLV-TWA : 10mg/m³

成分名

二酸化ケイ素

日本産衛学会 (2015 年度版)

(吸入性結晶質シリカ) 0.03mg/m³

成分名	酸化亜鉛
ACGIH (2013 年度版)	TLV-TWA : 2mg/m ³ (吸入性粒子) TLV-STEL : 10mg/m ³ (吸入性粒子)
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 高熱工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する 粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を使用すること。
眼、顔面保護具	個人用の眼の保護具、保護面を使用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を使用すること。
特別な注意事項	作業終了後は、手洗いを十分に行う。

9. 物理的及び化学的物質

物理状態	固体
色	白色
臭気	無臭
融点/凝固点	約 1350°C
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	該当しない
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当しない
引火点	該当しない
自然発火点	該当しない
分解温度	データなし
pH	データなし (分散液)
動粘性率	該当しない
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	該当しない
粒子特性	データなし

10. 安定性・反応性

反応性	水と反応し固化する。
化学的安定性	常温付近では危険な反応はしない。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	直射日光を避ける 雨水等の水濡れを防止する措置を講じて保管する。
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性	データ不足のため分類できない
------	----------------

皮膚腐食性／刺激性	製品は眼を刺激するおそれがある。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	製品は皮膚を刺激するおそれがある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	製品は呼吸器を刺激するおそれがある。
生殖細胞変異原性	区分 2 (結晶質シリカ (石英) $\geq 1\%$)
発がん性	区分 1A (結晶質シリカ (石英) $\geq 0.1\%$)
生殖毒性・授乳影響	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性) (結晶質シリカ (石英) $\geq 20\%$)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (免疫系、呼吸器、腎臓) (結晶質シリカ (石英) $\geq 10\%$)
誤えん有害性	データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生体毒性	魚類	データなし
	甲殻類	0.098mg Zn/l-48hr (オオミジンコ) (酸化亜鉛)
	藻類	0.0299mg/l (酸化亜鉛)
残留性・分解性		データなし
生態蓄積性		データなし
土壤中の移動性		データなし
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の付属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	内容物／容器を (国／都道府県／市町村) の規則に従って廃棄すること。 都道府県知事などの許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。 空容器を廃棄する場合、内容物を完全除去した後にリサイクル又は処分する。 特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。
--	--

14. 輸送上の注意

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	火気厳禁、天地無用。 容器に濡れが無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従うこと
海上輸送	船舶安全法の定めるところに従うこと。
航空輸送	航空法の定めるところに従うこと。 荷送人は運搬注意書 (イエローカード等) を交付すること。

15. 適用法令

化学物質管理促進法	非該当
労働安全衛生法	第 57 条に規定される表示対象物 第 57 条の 2 に規定される通知対象物 第 57 条の 3 に規定される調査対象物 皮膚刺激性有害物質 (R6.4.1～) がん原性物質 (安衛則) (作業記録等の 30 年保存対象物質) (R5.4.1～)
じん肺法	法第 2 条 施行規則第 2 条別表粉じん作業
毒劇及び劇物取締法	非該当
水質汚濁防止法	政令第 3 条の 3 第 54 号 鉄及びその化合物 (酸化亜鉛)

16. その他情報

引用文献： 原材料 SDS
JIS Z7253:2019
NITE 化学物質総合情報システム

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

また、注意事項は通常の実施を前提としております。特別な取扱いをされる場合は、用途／用法に適した安全対策を改めて実施して取扱われますようお願いいたします。

すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。

なお、ここに記載された情報は、新たな知見又は法規制の変更等により改訂されることがありますことをご了承ください。

安全データシート

作成日 2024年10月24日

1. 化学品及び会社情報

製品名 KFシールテクトNKトップ
会社名 KFケミカル株式会社
住所 東京都港区新橋1丁目1番1号 日比谷ビルディング 9F
担当 研究開発本部
電話番号 03-6629-9033
FAX番号 03-6629-9023

推奨用途及び使用上の制限事項
建築用塗料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体:	区分3
急性毒性	
経口:	分類できない
経皮:	分類できない
吸入(ガス):	分類できない
吸入(蒸気):	区分4
皮膚腐食性/刺激性:	区2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性:	区分2B
感作性	
呼吸器:	分類できない
皮膚:	区分1
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	分類できない
生殖毒性:	区分1
特定標的臓器毒性(単回暴露):	区分2(臓器、気道刺激性、 麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復暴露):	区分1(呼吸器、中枢神経系)
吸引性呼吸器有害性:	区分1
水生環境	
急性有害性:	区分1
長期間有害性:	区分1
オゾン層への有害性:	分類できない

GHSラベル要素

**危険**

危険有害性情報:

引火性液体及び蒸気
 皮膚刺激
 眼刺激
 吸入すると有毒
 水生生物に有害
 長期的影響により水生生物に有害
 呼吸器への刺激のおそれ
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
 臓器([中枢神経系]、[肝臓]、[腎臓])の障害のおそれ
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系、呼吸器系)の障害
 長期または反復暴露による臓器(肺)の障害のおそれ
 注意書き:

《安全対策》

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
 容器を密閉しておくこと。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／工具を使用すること。
 火花を発生しない工具を使用すること。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 (必要な時以外は)環境への放出を避けること。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 取扱い後はよく洗うこと。
 保護手袋および保護眼鏡／保護面を着用すること。

《応急措置》

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。
 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
 取り扱った後、手を洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること
 特別処置が緊急に必要である
 漏出物を回収すること。

《保管》

涼しい所／換気の良い場所で保管すること。
 施錠して保管すること。
 火気、熱源から遠ざけて保管すること。
 容器は密閉すること。
 湿気を避けること。
 子供の手の届かないところに保管すること。
 混色危険物質と一緒に保管してはならない。

《廃棄》

内容物や容器を、国際／国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

混合物

化学名又は一般名:

ポリウレタン樹脂系塗料

濃度又は濃度範囲:

化学名又は一般名	略号	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号		CAS No
			化審法	安衛法	
ウレタン樹脂	-	58%~60%	既存	-	-
コールタールナフサ溶剤 (ソルベントナフサを含む)	-	30.2%~31%	(9)1694	-	64742-95-6
内 1,2,4-トリメチルベンゼン	-	10%~11.2%	(3)-7	-	95-63-6
内 1,3,5-トリメチルベンゼン	-	2.7%~3%	(3)-7	(3)-7	108-67-8
内 クメン	-	0.6%~0.8%	3-22	-	98-82-8
内 o-キシレン	-	0.1%未満	(3)-3	(3)-3	95-47-6
エステル系溶剤	-	7.9%~8%	既存	-	登録

法規制対象成分:

成分	安衛法	PRTR法
コールタールナフサ	通知対象物	指定化学物質に該当しない
1,2,4-トリメチルベンゼン	通知対象物	第一種指定化学物質 第 296 号
1,3,5-トリメチルベンゼン	通知対象物	第一種指定化学物質 第 297 号
クメン	表示対象物/ 通知対象物	第一種指定化学物質(法第2条第2項、施行令 第1条別表第1)
o-キシレン	表示対象物/ 通知対象物	指定化学物質に該当しない

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物:

特になし

4. 応急措置

吸入した場合:

被災者を直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させる。

体を毛布等でおおい、保温して安静を保つ。

呼吸が止まっている場合は、衣服をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。

直ちに医師の手当を受ける。

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気のある新鮮な場所へ移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当を受けること。

皮膚に付着した場合:

汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。

必要であれば衣類、靴などを切断する。

製品に触れた部分を直ちに水または微温湯を流しながら洗浄する。

石鹼を使ってよく落とす。

外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医師の手当を受ける。

付着物を布にて素早く拭き取る。

大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

汚染された衣類を取り除くこと。

目に入った場合:

清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。

洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。

直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

直ちに、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合:

無理に吐かせてはならない。

直ちに医師の処置を受ける。必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。

被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。

嘔吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

最も重要な徴候及び症状:

特になし

応急措置をする者の保護:

汚染された衣類や保護具を取り除く。

救助者が有害物質に触れたり、吸入したりしないよう適切な保護具を使用するなど注意する。

適切な保護具(保護メガネ、防塵マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

医師に対する特別な注意事項:

特になし

5. 火災時の措置

消火剤:

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂
炭酸ガス、泡、粉末

使ってはならない消火剤:

冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。
水(棒状水、高圧水)

火災時の特有の危険有害性:

樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分が発生する。
また、樹脂中に含まれる有害物が飛散する危険がある。

特有の消火方法:

消火作業は可能な限り風上から行う。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
周囲の設備等に散水して冷却する。
消火のための放水等により、環境に製品が流出しないよう適切な措置を行う。
可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。

消火を行う者の保護:

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク、給気式呼吸用保護具)を着用する。
適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
消火活動は風上より行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置:

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、ろ過式呼吸用保護具、給気式呼吸用保護具等を着用する。
作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項:

流出した製品が河川や下水等に排出され、環境に影響を起こさないように注意する。
河川への排出により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材:

少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
衝撃、静電気にて火災が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

二次災害の防止策:

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

- 取扱いは、換気のよい場所で行う。
- 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
- 皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないようにする。
- 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
- 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
- 換気のよい場所で行う。
- 容器はその都度密栓する。
- 皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
- 取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
- 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

局所排気・全体排気:

特になし

注意事項:

取扱う場合は、局所排気内で取扱う。

安全取扱い注意事項:

- 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
- 炎、火花、高温体との接触を避ける。

保管

技術的対策:

- 日光の直射を避ける。
- 通風のよいところに保管する。
- 湿気を避けて保管する。

適切な保管条件:

- 火気厳禁。
- 直射日光を避け、換気のよい場所で、容器を密閉し保管する。
- 保証期限を過ぎた製品は速やかに廃棄する。
- 火気、熱源から遠ざけて保管する。

安全な容器包装材料:

適切な容器包装材料

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策:

- 密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
- 装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。
- 腐食性物質に、作業者が直接触れたり、暴露しないような配慮をすること。

許容濃度:

コールタールナフサソルベント	100ppm	TWA	ACGIH
1,2,4-トリメチルベンゼン	25ppm	TWA	ACGIH
1,2,4-トリメチルベンゼン	123mg/m3	TWA	ACGIH
1,3,5-トリメチルベンゼン	25ppm	TWA	ACGIH
1,3,5-トリメチルベンゼン	123mg/m3	TWA	ACGIH
キシレン	100ppm	TWA	ACGIH
キシレン	434mg/m3	TWA	ACGIH
クメン	100ppm	TWA	ACGIH

保護具

呼吸器の保護具:

必要に応じて、有機ガス用防毒マスク、送気マスク等を使用する。
その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

手の保護具:

保護手袋を着用する。
有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具:

保護眼鏡または防災面を着用する。
取扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚及び身体の保護具:

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。
取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

適切な衛生対策:

作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。

9. 物理的及び化学的性質

形状:	液体
色:	淡黄色透明液体
臭い(臭いの閾値):	灯油臭
pH:	該当しない
融点/凝固点:	
製品	データなし
沸点:	
製品	データなし
初留点:	
製品	データなし
沸騰範囲:	
製品	データなし
引火点:	
製品	データなし
自然発火温度(発火点):	
製品	データなし

燃焼性(固体、ガス):	
該当しない	
燃焼又は爆発範囲(下限):	
製品	0.6Vol%
燃焼又は爆発範囲(上限):	
製品	6.5Vol%
蒸気圧:	
製品	データなし
蒸気密度:	
製品	データなし
蒸発速度:	
製品	データなし
比重(相対密度):	
製品	データなし
溶解性:	
製品	データなし
オクタノール/水分配係数:	
製品	データなし
分解温度:	
製品	データなし
その他のデータ:	特になし

10. 安定性及び反応性

反応性:	空気中の湿気と反応するが通常の状態では安定
安定性:	保管の項目記載の保管条件で安定。
危険有害反応可能性:	有機物であるため、酸化性物質と接触すると、発火、爆発の危険性がある。 強酸、強アルカリと反応する恐れがある。
避けるべき条件:	直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。
混触危険物質:	強酸化剤
危険有害な分解生成物:	シアンガス

11. 有害性情報

急性毒性:

1,2,4-トリメチルベンゼン	5,000mg/kg	経口ラット(LD50)	日本塗料工業会
1,2,4-トリメチルベンゼン	72,000mg/m ³	吸入ラット(LC50)	日本塗料工業会
低沸点芳香族ナフサ	8,400mg/kg	経口ラット(LD50)	日本塗料工業会
1,3,5-トリメチルベンゼン	24mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	CERI ハザードデータ集

1,3,5-トリメチルベンゼン	4,900ppm/4H	吸入ラット(LC50)	
1,3,5-トリメチルベンゼン	96,000mg/m ³	吸入ラット(LC50)	日本塗料工業会
キシレン	3,500mg/kg	経口ラット(LD50)	CaPSAR
キシレン	4,300mg/kg	経口ラット(LD50)	環境省リスク評価
キシレン	29.08mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	環境省リスク評価
キシレン	20,000ppm	吸入ラット(LC50)	日本塗料工業会
クメン	2,700mg/kg	経口ラット(LD50)	ACGIH
クメン	2,900mg/kg	経口ラット(LD50)	DFG MAK
クメン	10,600mg/kg	経皮ラビット(LD50)	DFG MAK

皮膚腐食性/刺激性:

データなし

眼に対する重篤な損傷/刺激性:

データなし

呼吸器感受性/皮膚感受性:

データなし

変異原性(生殖細胞変異原性):

データなし

発がん性:

データなし

生殖毒性:

データなし

特定標的臓器毒性-単回暴露:

データなし

特定標的臓器毒性-反復暴露:

データなし

吸引性呼吸器有害性:

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類:

キシレン	3.3mg/L-96hr	ニジマス	CERI・NITE有害性評価書
クメン	2.7mg/L-96hr	ニジマス	環境省リスク評価

甲殻類:

コールタールナフサソルベント	0.42-2.3mg/L-48hr	オオミジンコ	EHC
1,2,4-トリメチルベンゼン	6.14mg/L-48hr	オオミジンコ	AQUIRE
1,3,5-トリメチルベンゼン	6000 μg/L-48hr	オオミジンコ	環境省リスク評価
キシレン	7.4mg/L-96hr	グラスシュリンプ	CERI・NITE有害性評価書
クメン	1.2mg/L-96h	ミシッドシュリンプ	CICADS

藻類:

データなし

残留性/分解性:

データなし

生体蓄積性:

データなし

土壤中の移動性:

データなし

オゾン層への有害性:

データなし

他の有害影響:

発がん性物質区分2(クメン)を0.6%含む

特定標的臓器(反復ばく露)毒性物質(1,2,4-トリメチルベンゼン)を2.7%含む

製品

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

・大量廃棄の場合、産業廃棄物処理業者に引取りを依頼する。

・少量廃棄の場合、焼却炉を用いて焼却する。

廃塗料などを焼却する場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有害ガスが発生する恐れがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。

特別管理産業廃棄物(廃油)に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理すること。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

空容器に関しては内容物を完全に除去してから廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類: 3:引火性液体

国連番号: 1263

品名(国連輸送品名):

容器等級: 包装等級3

海洋汚染物質:

国内規制:

適用法令を参照

取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

(陸上輸送)消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従うこと。

(海上輸送)船舶安全法の定めるところに従うこと。

(航空輸送)航空法の定めるところに従うこと。

特別の安全対策:

特になし

輸送の特定の安全対策及び条件:

火気厳禁。

輸送前に容器の破損、腐食漏れ等がないことを確認する。

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

応急措置指針番号:

128:塗料(引火性)

15. 適用法令

<製品>

労働安全衛生法施行令別表1-4 引火性の物

有機溶剤中毒予防規則 第3種有機溶剤

消防法第2条危険物 別表第4類 引火性液体(第2石油類・非水溶性液体)

<キシレン>

悪臭法令1条

<1,2,4-トリメチルベンゼン>

PRTR法 第1種指定化学物質(第296号)

<1,3,5-トリメチルベンゼン>

PRTR法 第1種指定化学物質(第297号)

<クメン>

PRTR法 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

16. その他の情報

引用文献

<製品>

日本塗料工業会編集「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック」

NITE 化学物質総合情報システム

原材料 MSDS

-
- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
 - (2) このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
 - (3) このデータシートは通常想定される保管方法及び取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。
 - (4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご使用ください。
 - (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守のうえ、輸出してください。
-